

# 江蘇省常熟市の自動車産業

岡山県上海事務所 専任スタッフ 馬小琳

## 市の概要

常熟市は江蘇省蘇州市に属する県級市で、上海市の北西 90 kmの長江南岸に位置し、上海浦東空港から自動車で 90 分、同虹橋空港からは 30 分の距離にあります。同市の人口は約 200 万人で、そのうち地元人口は約 105 万人、外来人口が約 80 万人です。

常熟市は環境が良く住みやすい都市で、国際化レベルも高いと言われています。また、歴史上有名な都市で、文化水準が高く、経済が発展しています。現在、常住外国人は 1,500 人以上で、市南部には国際総合団地の造成計画があります。

常熟市には、商業貿易企業が多く、一定の能力を有する商業貿易人材が豊富です。常熟理工学院では国際貿易学科を設置し、毎年多くの商業貿易人材を輩出しています。また、市内に中国最大の服装交易市场があり、その売り上げは年 1,000 億人民元に達します。また、商業銀行が 26 行、外資銀行が 2 行あり、最近では年 1 行のペースで銀行が増えています。通関、物流、財務会社等も多く、専門的なサービスを提供しています。

## 中国の自動車産業

2011 年、中国の自動車産業は堅調に発展しました。中国自動車工業協会の統計によると、中国の自動車生産台数と販売台数は世界一で、記録を更新しました。2011 年の自動車生産台数は 1,841.89 万台、販売台数は 1,850.51 万

台です。2011 年、中国の自動車輸出入総額は 1,430.75 億米ドルで、前年と比べ 31.83%増加しましたが、うち輸入額が 741.38 億米ドル（前年比 30.77%増）、輸出額は 689.37 億米ドル（同 32.99%増）です。自動車輸入の増加に伴い自動車部品の輸入も大幅に増加しており、2011 年自動車部品の輸入金額は 310.23 億米ドル、輸出金額は 521.93 億米ドルと初めて 500 億米ドルを超えました。自動車部品産業の発展の余地は依然大きいと言えます。

## 常熟市の自動車産業

自動車産業は常熟市の主要産業の一つで、自動車メーカー 2 社、自動車部品メーカー 300 社が立地しています。市内に「自動車部品産業園区」が設けられていますが、自動車で 2 時間以内の距離に、自動車部品メーカーが 8,000 社あります（蘇州市内だけでも 2,000 社の部品メーカーがあります。）。また、東南経済開発区内には自動車部品メーカーが 40 社近く立地しており、トヨタ変速機、三菱電機、大同工業、NSK、コンチネンタル自動車、ドイツ系 KIEKERT 自動車などの大手企業が立地しています。なお、2010 年に同開発区に立地したトヨタ自動車の研究開発センターは、新エネルギー自動車の研究開発も行う予定です。

市内に中国の第六番目の国際河川港である常熟港があり、1 万 t クラスの埠頭が 20 箇所、港保税倉庫が 30,000 m<sup>2</sup>以上あるなど、物流拠点としての魅力から、トヨタ通商、上組物流、トヨタ物流などが園区内に物流センターを設けています。

## 自動車関連産業の振興策等

常熟市では、様々なサービスを提供して自動車関連産業の発展・強化を促しています。例えば、東南経済開発区開発区委員会では関連機関との協力の下、進出企業に、工商、通関、商品検査検査、外貨管理、税務などのサービスを提供しています。また、市では、開業時のオフィスを提供するとともに、条件に合致する企業に対しては、増値税・企業所得税・個人所得税に

関し一定の優遇措置を提供しています。

中国の外国投資誘致は経済発展の一つの大きな柱であり、開発区間の投資誘致競争が激しさを増していますが、常熟市は日本企業を重要な誘致対象として、誘致に取り組んでいます。常熟市には自動車部品産業の集積が進んでおり、今後多くの自動車関連企業の進出が予想されます。

(2012年11月)



(自動車メーカーの所在地)